



「家庭教育講演会」～好奇心スイッチをONにする子育てについて～

3月16日、家庭教育講演会が町生涯学習センターホール及びオンライン上で開催されました。当初は、対面形式での実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、講師と会場をオンラインでつないで開催されたほか、Web会議サービス「zoom」を利用して配信も行われました。

今回の家庭教育講演会は、講師に認定こども園つるみね保育園園長で神戸教育短期大学客員教授の杉本正和先生をお迎えし、「想いを胸に～好奇心スイッチをONにする保育や子育て～」と題した講演を行いました。

杉本先生は、鹿屋市のご出身で、以前亀津小学校で教鞭をとられていた縁から今回の講演会が実現。杉本先生の実践されている「ハイブリッド保育～9割のアナログと1割のデジタル～」は、国内の数々の賞を受賞されています。



杉本 正和 氏



講演では、つるみね保育園が実践してきたハイブリッド保育について説明があり、アナログ保育では、約10分程度の昔遊びタイムや、科学タイムを繰り返すなど短い実践を重ねることが大きな力になると説明がありました。また、1台のipadのみで行っているというデジタル保育では、国内外とのコミュニケーションを重視し、集団でのオンライン英会話を実施している他、子どもたち自身が、写真を使ってみんなの前で2～3分程度説明を行い、質疑応答をする「プレゼンタイム」を実践しているとの紹介がありました。

保育や教育については、新しい価値にチャレンジしていく必要があるとし、今後は、IQ（知能指数）のみで評価される時代は終わり、CQ（好奇心数値）が重要として、テストでは数値化できない関心や意欲を大事にしてあげることで好奇心から探究心へと移行し、子ども達の目標や夢に繋がって行くとして、「すべての始まりは好奇心スイッチをONにしてあげること」と講演会を締めくくりました。

徳之島で“徳”を積む TDK硬式野球部が4年目の春季キャンプ

秋田県にかほ市に本拠地を置く社会人野球の強豪「TDK硬式野球部」が、3月1日から20日までの20日間、徳和瀬の健康の森総合運動公園で春季キャンプを実施しました。TDK硬式野球部の春季キャンプは2019年から今年で4年目。徳之島でのキャンプを機に、2020年には7年振りに都市対抗野球に出場したほか、2021年にも連続出場を果たすなど、徳之島キャンプで積んだ“徳”を活かし、好調をキープしています。

3月2日には、徳之島町スポーツアイランド推進協会主催の歓迎セレモニーが開催され、町関係者及び選手一同が出席。セレモニーでは、幸野副町長が「一致団結して優勝を目指してください」とあいさつ。特産品の提供として、タンカン20キロ、バレイショ40キロ、シークニンジュースが贈呈されました。選手代表のあいさつでは、皆川普主将が、「今年も“徳”を積み、良い報告ができるよう頑張りたい」とお礼を述べました。

TDK硬式野球部の今後ますますの活躍を期待しています！



4月23日～5月12日は「こどもの読書週間」本と触れ合おう！

子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、2000年より、今の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにもとても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。【公益社団法人 読書推進運動協議会HPより】



こどもの読書週間に「1日20分読書」運動をすすめてみませんか



子どもが生涯にわたる読書週間に身をつけるためには、乳幼児期から読書に親しみ、小学生期、中学生期、高校生期へと子ども自身がその成長に応じて読書の楽しさを知ることができるよう、読書環境の整備に社会全体で取り組んで行くことが必要です。鹿児島県及び徳之島町では、「子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動の推進を図っています。

<家庭で取り組む「1日20分読書」運動～心に残る1冊の本との出会い～>



- 近くの図書館（室）や書店に出かけて本を手にとってみましょう。
- テレビやゲーム、スマホは少しやめて、家族で読書をしてみましょう。
- 我が家の「読書の日」を作ってみましょう。
- 読み聞かせの時間を作ってみましょう。（大人から子ども、子どもから大人へ）
- 家族で読んだ本を紹介し合ってみましょう。
- 家族で料理や工作などの本を読んで、一緒に作ってみましょう。

ネット・スマホの現状を知り、トラブルリスクから子どもを守ろう！

今月の広報「とくのしま」に折り込まれている、家庭教育啓発チラシ「子どもをスマホトラブルリスクから保護者が守る！！」はもうご覧になりましたか？

町青少年育成町民会議及び町家庭教育支援チーム「つむぎたい」では、本町の子ども達を取り巻くスマホトラブルとその影響について町民の皆さまに知っていただくために今回のチラシを作成しました。この機会に家族みんなでチラシに目を通し、スマホやネットの取り扱いについて改めて話をしましょう。

スマホやネットのトラブルから子どもたちを守るのは、保護者を含めた私たち大人の責任です。子ども達の健やかな成長のために私たち大人が現状について学びましょう。



公民館講座 受講生募集中です！



令和4年度の公民館講座の受講生の申込みは、4月1日（金）から15日（金）の2週間（必着）となっております。応募は、チラシのはがきを利用し、郵送か学習センターへの直接持参となっております。

今年度の講座は全体で23講座。新規の講座に「終活講座」、「ギター入門」、「カラオケ教室（池間）」が加わりました。

新しく何かに挑戦したい方、自分自身のスキルアップを図りたい方など、皆さまのお申込みお待ちしております。（詳しくはチラシをご覧ください）



4行事予定

- 4月 6日（水）小中学校の入学式・始業式
- 4月16日（土）青少年育成の日
- 4月17日（日）子ども体験教室「竹とんぼづくりと弓道体験」
家庭の日
- 4月18日（月）インターシップ教育事業申込開始（～28日）
- 4月23日（土）「子ども読書の日」お話し会

家庭教育支援チーム「つむぎたい」から一言

同じ子どもなんて
一人もいない。

親は、子を他と比較して不安になるのではなく、
どんな時も子どもの個性と成長を信じ、
ゆっくり見守っていきましょう。

